

令和8年度 山の手小学校

教育説明会





学校長あいさつ

令和8年度

札幌の自然環境・人的環境・文化的環境

札幌の歴史・文化・自然・環境・公共等への理解を深める

「ふるさと札幌」における学び・成長

学校経営方針

「札幌っていいな 山の手っていいな」

札幌市立山の手小学校

□琴似中学校区・目指す15歳の子どもの像「学びの楽しさを知り 仲よく素直で相手とつながり 心身ともに健やかな人」(小中一貫した教育の推進)

チーム山の手

- 同僚性を大切に
- 情報の共有とサポート
- 喜びな子ども理解

教育目標

平和を愛し 明るく正しい未来を創造する人間の形成

子ども像

- よく学びよく考える子ども (知)
- 仲よく素直な子ども (徳)
- 進んで活動し、やりぬく子ども (知徳)
- 明るく元気な子ども (体)

経営の理念

明日も来たいと思う学校

重点目標

～豊かさを求めるために～
 しなやかに考える子 しなやかに行動する子

働き方の改善 (ワークライフバランスの調整と日常の授業の充実)
・年間時数の効果的運用

「学ぶ力」育成ビジョン
 目標:「自ら学ぶ方法」と「人と学び合う方法」を身に付け、「挑戦する意欲」をもつ子どもを育てる

- 学習規律と学習習慣
- 学び方(学習スキル)…話し方・聴き方など
- 基礎的・基本的な知識及び技能…一人一台端末の活用
- 課題探究的な学習(6つのセルフチェック)
…「見通し・行動・振り返り」AARを大切に
個別最適な学びと協働的な学び
問いが生まれる授業
ICTの活用
- 学年内専科指導の充実(学年交換授業等も含む)

「豊かな心」育成ビジョン
 目標:「自分のよさ」に気づき、周りの人々への「思いやりの心」「感謝の心」を育てる

- 命を大切に指導の充実
…「子どもの命の大切さを見つめ直す月間」における集中的な啓発と取組(3部の連携)
- いじめ防止に向けた計画的な取組
- 生命(いのち)の安全教育(学級活動中心)
- 規範意識・人間関係を築く力・社会への参画意識の醸成
- 互いの個性や多様性を認め合う
- 自己肯定感・自己有用感を高める取組
…子どもの居場所と役割づくり
成就感を味わわせる取組 即時的な評価
感謝を伝える「ありがとう」「うれしい」など

「健やかな体」育成ビジョン
 目標:体を動かすことの楽しさを感じながら、様々な運動に取り組める子ども・健康に興味、関心を持ち、食や命の大切さに気付く子ども

- 体育学習の指導工夫
○「**仲間・時間・空間(三間)**」の創出による運動機会の工夫
- 性に関する指導の充実
- 望ましい食習慣や健康な食に関する知識

信頼される学校の創造

- 「札幌らしい特色ある教育」…雷・環境・読書
- 「子どもの発達への支援」…特別支援教育の充実
- 「家庭や地域とともにある学校づくり」…さっほろっ子「学び」のススメ・安全教育・コミュニティスクールの導入
- 国際理解教育…外国語教育の充実
- 保護者や地域に学校の教育活動を積極的に公開…参観懇談・地域公開・学校HP・学校だより・すぐー等を活用
- 開校60周年に向けて検討(式典は行わない)…子どもたちが年月の長さを感じ、学校を大切にしたいと思えるようなことがきたら…
- 拡大大学の支援部会を設置…いじめ防止対策委員会開催時に行う**

本物の経験

- 教員の資質・能力の向上…礼教研事業・専門研修・研究会への参加
- 進路探究学習(キャリア教育)…当番活動・地域で働く人・働くことの大切さ
- 特別な教育の支援の組織的、計画的な推進…特別支援学級担任と通常学級担任の交換授業

人間尊重の教育
 「自分が大切にされている」と実感できる学校づくり
全ての子どもを包摂し、多様性を生かした教育の実現

【子どもの声を聴く】

- 学習活動づくり「互いのよさや可能性を発揮できる取組」
- 人間関係づくり「互いのよさや可能性を認め合える仲間」
- 環境づくり「安心して過ごすことのできる学校空間」

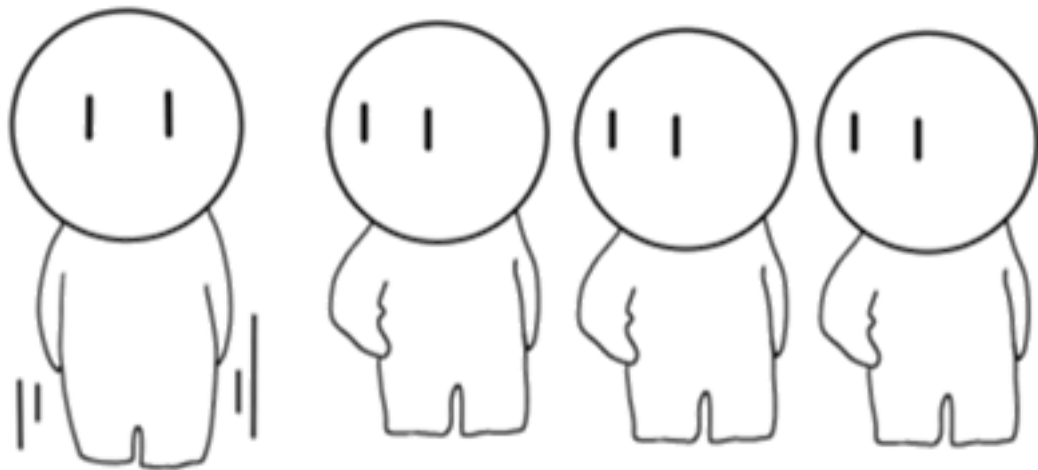
【しなやかさ】

- ①どんな状況にも対応できる(落着き、思慮深さ、状況判断、自分らしさを活かし、粘り強さ、素直さ)
- ②誰とでも仲よくできる(自他の考えの違いを受け入れる、心穏やか、包容力、心のゆとり)
- ③自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら問題を解決する資質・能力を学ぶ

これは、本校の令和8年度
学校経営方針です。



私がか子どもの頃は…

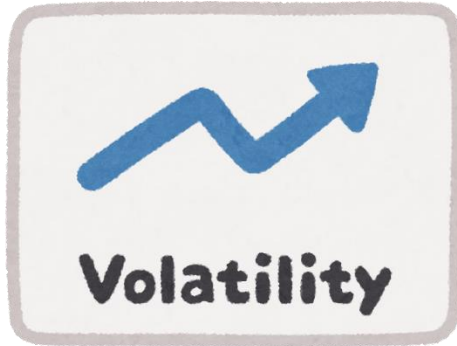


「一様」 と **「たくましさ」**

が求められていました。



しかし、今は「VUCA」の時代



予測不能



不確実



複雑



曖昧

「多様性」の時代



そこで...



「しなやか」をキーワードに



「しなやかさ」を育てる



学習したり



遊んだり

一緒に活動する中で



「しなやかさ」を育てる



話し合ったり



励まし
合ったり

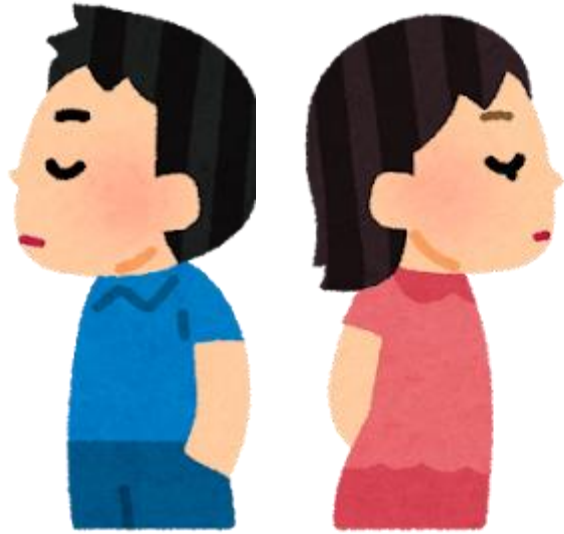


認め
合ったり

することを通して



時には…



考えが
合わなかったり



腹が立ったり



悩んだり



落ち込んだり

失敗や困難に
直面した時こそ、

成長のチャンス！



保護者の皆様にお問い合わせ



もしかしたら、
こういうことも
もしれないよ。

こうなった原因
は何かな？
一緒に考えてみ
よう！



子どもたちは、成長の途中。
視野を広げる、視点を变える助言・励ま
しを



学校で、家庭で、地域で、

共に育んで
まいりましょう！



明日も来たいと思う学校

しなやかに考える子 しなやかに行動する子

学習活動づくり

互いのよさや可能性が発揮できる取組

「育てる」取組から「育つ」取組へ

人間関係づくり

互いのよさや可能性を認め合える仲間

相互承認の感度を高める

環境づくり

安心して過ごすことができる学校空間

同質性から多様性へ

明日も来たいと思う学校

しなやかに考える子 しなやかに行動する子

子どもたちの声を聴く

互いのよさを認め、個性が発揮できる取組

子ども一人一人が
「自分が大切にされている」
と実感できる学校づくり

互いのよさを認め、個性が認められる取組

相互承認の感度を高める

多様な個性が認められる取組

同質性から多様性へ

子どもの声を聴く

▶ 「子どもたちが安心できる」取組を

●1年生：始まりの4月

- ・丁寧なスタートカリキュラムで。
- ・ゆっくり小学校の時間に慣れるように。



●全学年：2学期や3学期の始まり

- ・しっかり学校のリズムを取り戻して。
- ・安心して、新学期のスタートを迎えられるように。（始まりの週は5時間授業で）

環境の変化

友達関係の変化

生活リズムの
変化

安心して
登校

子どもの声を聴く

▶ 「子どもたちが安心できる」取組を

●児童が安心できる環境を

- ・多様な学びの場の

サポー

ト。

- ・子どもの心の状態の把

握。

●研修日を設定（全4時間/全5時間）

- ・教職員による子ども理解に

努める時間の

確保。

- ・研修や授業改善につなげる

機会の充実。

- ・いじめ防止にかかわる

▼今年度の行事について

4月	5月	6月	7月	8月	9月
始業式・入学式 4/8(水)			1学期終業式 7/24(金) 6年見学旅行	2学期始業式 8/24(月)	遠足 9/25(金)
参観・懇談 24日 4・5・6年 28日 1・2・3年、 ひばり学級	個人懇談 5/13~21	山の手 スポーツDAY 6/13(土)			参観・懇談 2日 1・3・5年 3日 2・4・6年、 ひばり学級

10月	11月	12月	1月	2月	3月
5年滝野宿泊学習 20・21日		2学期終業式 12/25(金)	3学期始業式 1/15(金)	スキー学習 8日 5・6年、ひばり 15日 3・4年、ひばり	卒業証書授与式 3/23(火) 修了式 3/25(木)
個人懇談 10/1~8 土曜参観 10/31(土)		学習発表会 地域保護者公開日 12/5(土)			参観・懇談 1日 6年 2日 4・5年 3日 3年、ひばり 4日 1・2年

学校HPで行事予定を確認できます。

▶今年度は、健やかな体の育成を重点に！

子どもの「健やかな体」を育む：3つの「間(さんま)」の創出

② 時間 (Time) : 日常的な機会の確保



中休み・昼休みの活用や、週1回の「みんなで遊ぶ日」を設けて継続を促す。

① 仲間 (Peers) : みんなで盛り上がる



先生も一緒に。児童会の活動も連携して交流を深める。

③ 空間 (Space) : 遊び場の有効活用



グラウンドへの常設コーナー設置や、多目的室・体育館を日常の場として開放する。

運動を日常にするための3要素

モノの充実
Enhancing Equipment



ドッチビーや縄跳び、ボールなど、すぐに遊べるグッズを各学年に配布する。

きっかけ作り
Creating Triggers



遊び方の紹介や、縄跳びカードのような挑戦したくなる文化を校内に作る。

学校全体の協力体制



PTAによる備品購入の検討など、教職員以外とも連携して環境を支える。

その他

▶そして！新たな「山の手スポーツDAY」の開催です。

グラウンドと共に戻ってくる、日常と新しい挑戦。



開催日：6月13日（土）

たくましい心と身体を 「健やかな体」を育成する「山の手スポーツDAY」へ



4年ぶりのグラウンド開催：改修工事を経て、ついに子どもたちの声が校庭に戻ってきます。
この新たなスタートを機に、行事のあり方を「これからの時代」に合わせてアップデートしました。

これまでの運動会



勝敗や順位

これからの山の手スポーツDAY



「昨日の自分」を超えるプロセス

- ✓ 自己肯定感：「できた！」という自信を育む。
- ✓ プロセスの重視：結果に至るまでの努力を評価。
- ✓ 主役は全員：運動が得意な子も苦手な子も、自身の成長を実感できる場へ。

3つの種目で育む「こころ」と「つながり」



短距離走 (Challenge)

昨日の自分への挑戦

- 全学年50m走 / 順位付けなし
- 練習時と本番のタイムを計測し、「キャリアパスポート」に記録。
- 他者との比較ではなく、毎年「去年の自分より速くなった」という成長を可視化します。



表現 (Connection)

縦のつながりと憧れ

- ブロックごとに曲を毎年固定
- 上級生が下級生に教える「縦割り活動」。
- 「リーダーシップ」と「憧れ」の連鎖が生まれます。



団体競技 (Unity)

チームとしての勝敗

- 玉入れ(低) / 綱引き(中) / 台風の目(高)
- ここではチームで勝敗がつきます。
- 仲間と協力し、勝つ喜びと負ける悔しさを共有することで、集団への所属感を深めます。

安心・安全と集中力を守る「午前・ブロック開催」

午前開催



熱中症対策（気候変動への適応）と、子どもたちの集中力維持のため、密度を濃くした半日開催とします。

高学年ブロック
(5・6年)

中学年ブロック
(3・4年)

低学年ブロック
(1・2年)

保護者のメリット：
お子様の出番が凝縮されるため、近くで集中して応援・参観が可能です。

教育的効果

イベント単発ではなく、日々の体育授業の延長線上にある「発表の場」として位置づけます。



テイネスキー場での学習
2月8日（月）5・6年ひばり
15日（月）3・4年ひばり

学習発表会

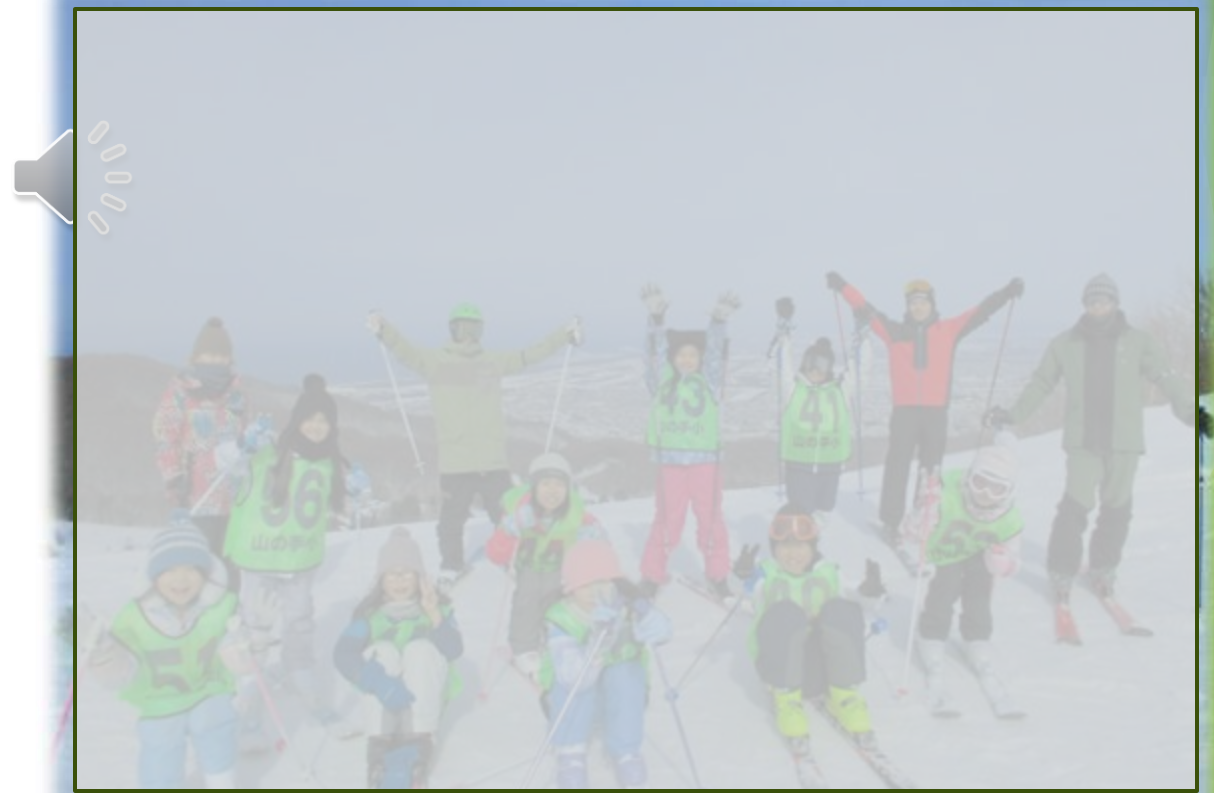
12月5日（土）

「学びの発表」

教科の学び：授業で身につけた力。

総合の学び：自分で調べ、考え、まとめた探究の成果。

心の成長：仲間と協力して一つのものを作り上げる姿。



▶教材費等の徴収について

- 購入教材の精選
- 現地学習の交通手段の見直し
- 調理実習費の徴収
→教材費として振込





学校における いじめ対策の強化について

いじめの定義

当該児童等と一定の人的関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいう。

いじめは、いつでも、どの子どもにも
どの学校にでも起こり得るもの

私たち大人、学校に求められること

学校におけるいじめの防止等の対策のための組織
～いじめ防止対策推進法 第22条から～

いじめの積極的認知



特定の教員で抱え込むことなく

組織的な対応を徹底

専門家の視点を踏まえて

いじめの防止等のために学校が実施する取組

1 ■学校いじめ防止基本方針の策定
(見直し)



2 ■いじめ防止対策委員会の設置

いじめの防止等のために学校が実施する取組

3 ■ いじめの未然防止

4 ■ いじめの早期発見

「シャボテンログ」



いまのからだのぐあいは？



よい



すこし
よい



すこし
わるい



わるい

「シャボテンタイム」

シャボテンタイム

朝の読書

朝の会



8:25~8:45

児童入力



声かけ

シートを

教頭 T へ

- 担任
- 養護教諭
- 担任外
- 校長先生
- 教頭先生

アラート

話したい

→教頭 T から

シート

シャボテンログ
様子観察


いじめ防対委
(随時)

情報共有

- 職員集会
- いじめ防対委(定例)

ケース会議
(随時)

「シャボテンシート」

学級	
名前	
アラート	体不調連続3日 心不調連続3日 話したい
件名	声かけしてみてください。 

【簡単な内容】

🔄 「対応済み」ボタンを押して→教頭先生に戻してください。

いじめの防止等のために学校が実施する取組

5 ■個別の対応状況に関する記録及び引継



6 ■情報の適切な管理（強化）

- 子どもの声を聴く
- 声なき声も受けとめる

一人一人にとって  「明日も来たいと思う学校」
を 目指して

お子さんの健やかな成長を 教職員一同で支えてまいります。



さっぽろっ子「学び」のススメ

さっぽろっ子「学び」のススメは、子どもと家庭、子どもと学校、学校と家庭をつなぐとともに、子どもの権利を大切にするものです。

子どもは、どの子どもよき可能性をもっています。大人は子どもを他者と比較するのではなく、その子自身の成長を認めていくことが大切です。学校で、家庭で、子どもに寄り添い、伸びを認め、意欲を高める共感的・肯定的なメッセージを伝え、子どもの成長を促していきましょう。

学校も、家庭も、**まほうのかいわ**で習慣づくり

- ま** 学んだことを一緒に振り返りましょう。
- ほう** 方法を一緒に考えましょう。
- の** 伸びを認め、ほめましょう。
- かい** 改善に向けて、生活を一緒に振り返りましょう。
- わ** わからないこと、できないことに挑戦できるように励みましょう。

SAPPORO 札幌市教育委員会



今年度も変わらぬご支援をお願いいたします。

※教育説明会スライドは学校HPでご覧になれます。